



2021年1月15日

各位

会社名 シリコンスタジオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 梶谷 眞一郎
(コード: 3907、東証マザーズ)
問合せ先 社長室長 佐々木 雄一
(TEL. 03-5488-7070)

受注損失引当金繰入額の計上および通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は2020年11月期決算において、下記のとおり受注損失引当金繰入額を営業損失として計上いたしました。また、2020年10月13日付で開示いたしました2020年11月期の連結業績予想と、本日公表いたしました実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 受注損失引当金繰入額（営業損失）の計上の内容

子会社において受託したゲームアセット開発案件において、開発が難航し外注費等の開発費用が増加したこと等に伴い、2020年11月期決算において受注損失引当金繰入額65百万円を営業損失として計上いたしました。

2. 2020年11月期 連結業績予想値と実績値との差異（2019年12月1日～2020年11月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,076	百万円 80	百万円 80	百万円 30	円 銭 10.45
今回実績値（B）	4,134	73	77	16	5.72
増減額（B-A）	58	△6	△2	△13	-
増減率（%）	1.4	△7.7	△3.2	△45.3	-
（参考）前期連結業績（2019年11月期）	4,594	45	60	158	54.97

3. 差異の理由

（1）売上高の差異について

開発推進・支援事業の売上高は、前回発表時より51百万円増加し2,221百万円となりました。

人材事業の売上高は、有料職業紹介の成約件数が上振れしたこと等により、前回発表時より3百万円

増加し1,829百万円となりました。

その他の売上高は、他社との協業コンテンツタイトルの売上高が増加したことにより、前回発表時より3百万円増加し83百万円となりました。

以上により、売上高は前回発表時より58百万円増加し4,134百万円となりました。

(2) 営業利益の差異について

開発推進・支援事業のセグメント利益は、売上高が増加したものの、前述のとおり子会社における不採算案件の発生等により、前回発表時より43百万円減少し103百万円となりました。

人材事業のセグメント利益は、売上構成の変動等により、前回発表時より17百万円増加し415百万円となりました。

全社費用は、費用削減に努めたこと等により、前回発表時より19百万円減少し450百万円となりました。

以上により、営業利益は、前回発表時より6百万円減少し73百万円となりました。

(3) 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の差異について

経常利益は、営業利益が減少したものの、持分法による投資利益が増加したこと等により、前回発表時より2百万円減少し77百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額が想定より増加したことにより、前回発表時より13百万円減少し16百万円となりました。

以上